

被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める とりくみニュース

《発信元》

東北6県生協連運動事務局
宮城県生活協同組合連合会
責任者 野崎 和夫
TEL 022-276-5162
FAX 022-276-5160
NO. 4 (2014年10月21日)

■署名の集約状況(10月20日現在) 東北で9万、全国で15万筆超える。

県連	筆数	主な生協の署名数
青森県(10万)	15,032筆	コープあおもり 5,535筆、県民生協 2,575筆、青森保健 2,625筆、津軽保健 2,969筆、県庁消費 377筆、八戸医療 449筆、弘大生協 134筆、十和田市職生協 85筆、生活クラブ 93筆、
岩手県(20万)	13,282筆	署名運動推進協議会設立本格活動中・2554筆、学校生協 7,253筆、いわて生協 1,800筆
秋田県(10万)	集約中	コープあきた共同購入への3万枚折り込み、つどいででの呼びかけを～11月30日まで実施
山形県(10万)	7,762筆	山形県生協連 1570筆、共立社 2906筆(つどいで訴え、宅配で署名用紙配布)
宮城県(20万)	54,134筆	みやぎ生協 31,229筆、宮城県労働者福祉協議会 16,387筆、あいコープ 414筆、県漁協 1,192筆、介護ネット 168筆、県民センター約 3,400筆、仙台弁護士会 49筆、多賀城市仮設 79筆等、今週からみやぎ生協共同購入利用者の回収始まる。
福島県(10万)	5,350筆	コープふくしま 5,350筆、委員会・つどい・共同購入への配布。
上記以外の県 (宮城県連到着分 +日生協北海道東 北地連集計分)	58,980筆	大阪いずみ市民生協 27,236筆、コープいしかわ 3,189筆、新潟県連 2,077筆 大分県連 985筆、いばらきコープ 856筆、生協エスコープ大阪 1014筆、福岡県連 840筆、香川県 600筆、長野県連 397筆、富山県連 397筆、大分医療生協 285筆、協同福祉会(奈良県) 306筆、宝塚医療生協 303筆など到着分を記載
合計	154,540筆	

■東北の紹介 ～コープ福島の取り組みについて～

「組合員の機関会議等でお知らせをし、署名活動に取り組んでいます。」

- ① 8月の合同会議、9月コープ委員会の配布資料に制度の抜本的拡充を求める説明を入れ、委員さんご本人とその家族や知人を対象に署名を実施しました。
- ② 被災地の応急仮設住宅での「ふれあいサロン」を実施するなかで、サロンに参加した方へ署名のお願いや仮設住宅自治会へ署名への協力をお願いしています。
- ③ 職員一同に署名の呼びかけを行いました。
- ④ 共同購入に折り込みをして署名の呼びかけを行いました。
- ⑤ 9月15日、18日に組合員活動でお買物に来店される組合員に店頭で署名の呼びかけを行いました。



店頭署名行動の様子

■宮城県内の取り組みについて

「今必要な、被災者への支援を考える」宮城県民フォーラムを開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。直接会場へお越しください。

日時：10月25日(土) 10～12:30、会場：仙台弁護士会館 4F 仙台市青葉区一番町2丁目9-18

基調講演：「被災者生活再建支援法の成り立ち・現状とこれからの課題」

講師：出口俊一さん(兵庫県震災復興研究センター事務局長・阪南大学講師)

報告：被災者からの報告、宮城県からの報告、質疑応答を予定しています。

宮城県労働者福祉協議会から
16,387筆が届きました。

署名運動へのご協力をお願いします。(第2次集約：11月30日)